

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会		主 査 名：西村 功 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度 諸外国の動向と我が国の技術展望 ・ 2011 年度 適応できる技術範囲の特定 ・ 2012 年度 具体的なモニタリングデータの利用に関する提言 ・ 2013 年度 構造ヘルスマニタリング技術の将来展望に関する提言 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：西村 功 (東京都市大学) 幹事：酒向裕司 (小堀鐸二研究所)、吉元玲毅 (三菱総合研究所) 委員：岡田成幸 (北海道大学)、風間宏樹 (日建設計)、久家英夫 (竹中工務店)、近藤智佳子 (IHI)、佐藤貢一 (大成建設)、斎藤知生 (清水建設)、薛松涛 (東北工業大学)、中村充 (大林組)、三田彰 (慶應義塾大学)、森田高市 (建築研究所)、渡壁守正 (戸田建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2012 年度日本建築学会大会における PD を強震観測小委員会と共同で開催する予定であり、モニタリング技術に対する 2011 年 3 月 11 日の地震以降の社会的な要請と技術的な展開について、建築学会特別調査委員会と連携して討論する。即時モニタリングが最も要請の高い応用分野である。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 2011 年 3 月 11 日の東北地方を襲った巨大地震により関東一円でも建築構造物は少なからず構造被害を受けた。この地震により建物構造物の構造安全性を即時に判定するシステム、あるいは建物の被災度判定即座に行うモニタリング技術に対する要請が高まった。今後の活動方針は、この分野の要素技術開発やデータ管理目的などの方向性を示すことである。